# グローバル・スタディー科・第1学年

### 1 学習目標

- (1) 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深める。
- (2) 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
- (3) 聞くこと、話すことのコミュニケーション能力の基礎を養うことをねらいとする。

#### 2 学習の仕方

- (1) 授業では
- ① 顔を上げて先生の話をよく聞き、大きな声で発音練習する。
- ② 英語が「わからない」ことを嫌がらず、受け入れる。わかるようになるための授業だと心得る。
- ③ カタカナ発音にならないように、CDや先生の英語を集中して聞いて繰り返す。
- ④ コミュニケーションゲームをする時は、日本語を使わずに、誰とでも協力して活動する。
- (2) 家庭などでは
- ① 授業で練習が必要だと思った表現を、英語を見ずに言える・書けるようになるまで繰り返し練習する。
- ② 教科書本文を、最低限なめらかに音読できるようになるまで、可能な人は暗唱できるようになるまで、徹底的に音読する。※大学入試・高校入試で特に重視されている英文の処理速度が上がります。
- ③ 宿題をして、ワークブックやドリルブックで練習問題をする(1 問ずつ答えを確認し、練習が必要なものは「言える・書ける」まで練習する)。

※英語では日々の積み重ねが特に重要です。

## 3 学習内容

月	単元名学習のねらい	主な学習内容
4	Classroom English	授業で用いられる英語表現を理解する。
	【目標】授業で用いられる英語表現を理解することが	
	できる。	
	Get Ready	・聞き取った情報を参考に、好きな食べ物や行きたい国
	【目標】	などについて、話したり書いたりする。
	・聞き取った情報を参考に、好きな食べ物や行きたい	・友だちとの対話や先生へのインタビューを通して、即
	国などについて、話したり書いたりすることができる。	興でやり取りをする。
	・友だちとの対話や先生へのインタビューを通して、	【読むこと】
	即興でやり取りをすることができる。	【話すこと (やり取り)】
	Program0	アルファベットの形、つづり字、発音について理解する。
	アルファベットを確かめよう	
	【目標】アルファベットの形、つづり字、発音につい	
	て理解することができる。	
5	辞書を引いてみよう	辞書の引き方について理解する。
	  【目標】辞書の引き方について理解することができる。	

	PROGRAM 1	生徒が新しい学級で自己紹介の文を発表し友達を理解す
	Let's Make Friends!	る。小学校でも活用してきた表現も使いながら、簡単な
	(友だちを作ろう)	英語で自分のことを伝えたり相手の話にリアクションを
	【目標】新しいクラスの友達に自分のことを伝えるた	伴った表現を入れたり、質問し相手の内容を確認しなが
	めに、自分の好みなどについて、紹介したいことを話	ら話すところを評価する。
	したり、相手からの質問に答えたり、相手の好みにつ	【話すこと(やり取り)】
	いて質問したりすることができる。	
	Word Web 1 数の言い方	年齢や電話番号、値段などの言い方を理解し、正確に聞
	【目標】年齢や電話番号、値段などの言い方を理解し、	き取ったり、伝えたりする。
	正確に聞き取ったり、伝えたりすることができる。	
	PROGRAM 2 You are a School Reporter (1-B の生徒	生徒は学校新聞の記者になり、よいマナーで学級の友だ
	たち)【目標】相手の興味深い情報を得るために、学級	ちにインタビューをする。【話すこと(やりとり)】
	の友だちについて知りたいことを整理して質問をした	
	り、質問に答えたりすることができる。	
	Word Web 2	曜日や天気などの言い方を理解し、やり取りする。
6	曜日と天気の言い方	
	【目標】曜日や天気などの言い方を理解し、やり取り	
	することができる。	
	Steps 1 英語でやりとりしよう①	既習の表現を使って、質問のやりとりをする。
	【目標】質問のやりとりをすることができる。	
	アクションコーナー	命令文の表現を理解し、正確に聞き取ったり、やり取り
	【目標】命令文の表現を理解し、正確に聞き取ったり、	したりする。
	やり取りしたりすることができる。	
	PROGRAM 3	自分ができることやできないことを表現したり、質問し
	Let's Have a Talent Show	たりしながら友だちと話し合い、舞台で披露する内容を
	(タレントショーを開こう)	決める。生徒は積極的に発話したり、話し合いの中で的
	【目標】タレントショーで伝える自分の情報を話し合	確な質問を考え、相手が言った内容を深める質問をした
	いで決めるために、自分ができることやできないこと	りする。
	についての事実を、既習言語や文を用いて伝えたり、	【話すこと (やり取り)】
	相手からの質問に答えたりすることができる。	
7	Steps 2	マッピングを活用しながら、自分の好きなことについて
	考えを整理し、表現しよう	発表する。
	【目標】マッピングを活用しながら、自分の好きなこ	【話すこと (発表)】
	とについて発表することができる。	

	Our Project 1	・即興で、相手にわかりやすく自己紹介をする。
	あなたの知らない私	・内容を整理して、まとまりのよいスピーチ原稿を書く。
	【目標】	【書くこと】
	・即興で、相手にわかりやすく自己紹介ができる。	
	・内容を整理して、まとまりのよいスピーチ原稿を書	
	くことができる。	
8	Power-Up1	設定した状況に応じて、メニュー表を見ながら、店員役
	ハンバーガーショップに行こう	と客役に分かれてやり取りする。
9	【目標】設定した状況に応じて、メニュー表を見なが	【話すこと (やり取り)】
	ら、店員役と客役に分かれてやり取りすることができ	
	る。	
	PROGRAM 4	オーストラリアに留学している日本人の生徒が日本のも
	Let's Introduce Japanese Things!	のなどについてクラスメイトに紹介をすることである。
	(Let' Enjoy Japanese Culture.)	【話すこと(発表)】
	【目標】海外の人々に、日本のことを知ってもらうた	
	めに、日本の発明について紹介したいと思うものをマ	
	ナー良く話すことができる。	
	Power-Up2 持ち主をたずねよう【目標】which や	which や whose の表現を使いながら、持ち主についてや
	whose の表現を使いながら、持ち主についてやり取り	り取りする。【話すこと(やり取り)】
	するスキットを作成し、発表することができる。	
	PROGRAM 5	さいたま市にゆかりのある有名人について、仲間と協力
	Saitama International Junior Ambassador	し合って調べ、その内容を"さいたま市国際ジュニア大
	(Junior Safety Patrol)	使"として他者にわかりやすく伝える。有名人について
	【目標】さいたま市のジュニア大使として、外国の人	の情報をグループで協力して収集し、クラスの友達にス
	にさいたま市の魅力を伝えるために、地元にゆかりの	ピーチする。
	ある有名人についての情報や自分の考えを話すことが	【話すこと(発表)】
	できる。	
10	Word Web3 季節・月の名前	季節や月の名前などの言い方を理解する。
	【目標】季節や月の名前などの言い方を理解する。	
	PROGRAM 6	お気に入りの映画を選び、その内容に関してマッピング
	My favorite movie	等を行い整理し論理的な映画の紹介を作り、聞き手から
	(The Way to School)	の質問に答える活動である。
	【目標】海外の友だちに好きな映画を紹介するために、	【話すこと(発表)】
	登場人物や内容について、説明したり、相手からの質	
	問に答えたりすることができる。	
	Power-Up 3 道案内をしよう	駅ビルの地図を見ながら、客役とスタッフ役に分かれて
	【目標】駅ビルの地図を見ながら、客役とスタッフ役	やり取りする。
	に分かれてやり取りすることができる。	【話すこと (やり取り)】

	Power-Up 4 店内放送を聞こう	店内放送を聞いて、その内容を理解する。
	【目標】店内放送を聞いて、その内容を理解すること	
	ができる。	
	Word Web 4 順番・日付の言い方	順番や日付などの言い方を理解し、やり取りする。
	【目標】順番や日付などの言い方を理解し、やり取り	
	することができる。	
11	PROGRAM 7	生徒がさいたま市(日本)の魅力ある所について動画を
	Let's Teach about Japan Online!	撮影し、姉妹校に送る場面である。それに向けて自分で
	(Research on Australia)	選んだ文化についてまとまりのある文を書いたり、ペア
	【目標】海外の友人に紹介するために、選択したさい	で紹介したりする言語活動を計画する。
	たま市や日本文化について、簡単な語句や基本的な表	【話すこと(発表)】
	現を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話すこ	
	とができる。	
	Steps 3	わかりやすい構成を考えながら、あるトピックについて
	話の組み立て方を考えよう	自分の考えを発表する。
	【目標】わかりやすい構成を考えながら、あるトピッ	【話すこと(発表)】
	クについて自分の考えを発表することができる。	
	Steps 4 英語でやり取りしよう②【目標】さまざまな疑	さまざまな疑問文を用いて、やりとりをする。
1	問文を用いて、やりとりをすることができる。	
2	Word Web5 疑問詞のまとめ	さまざまな疑問詞の使い方を理解し、やり取りをする。
	【目標】さまざまな疑問詞の使い方を理解し、やり取	
	りすることができる。	
	Our Project 2	マッピングを活用し、紹介したい人について、話す内容
	この人知っていますか	や順番を考え、書いたり、発表する。
	【目標】マッピングを活用し、紹介したい人について、	【話すこと(発表)】
	話す内容や順番を考え、書いたり、発表することがで	
	きる。	
	Power-up5	インタビューを聞いて、その内容を理解する。
1	インタビューを聞こう	
1	【目標】インタビューを聞いて、その内容を理解する	
	ことができる。	
	PROGRAM 8	グループで協力して世界の国の祭りやイベントについて
	World Festivals	調べ、わかったことを絵に表して、その絵を用いて発表
	(The Year-End Events)	することがテーマである。 教科書で取り扱っている日本
	【目標】海外のイベントに「行ってみたい」と思って	文化に対して本単元では世界に目を向けて学習活動を行
1	もらうために、世界の祭りの様子について、調べて分	う。
2	かった事実や自分の考えを発表したり、友だちの発表	【話すこと(発表)】
	を聞いて適切な質問をしたりすることができる。	
1		

	Steps 5 絵や写真を英語で表現しよう 【目標】絵の情報について適切な英語を用いて表現で きる。	絵の情報について適切な英語を用いて表現する。 【話すこと (発表)】
	PROGRAM 9 Writing a Letter (A Trip to Finland) 【目標】英語圏に住む外国の友達に手紙を送るために、自分の経験や考えを相手の国の習慣や手紙の形式に気を付けながら親しみを込めて、わかりやすく書くことができる。	海外にいる英語圏の友達と手紙を交換するというテーマで生徒は自分の経験に基づいて手紙を書く。 また、受け取った手紙を読んでその内容について返事を書く。 【書くこと】
2	Steps 6         文の内容を整理し、表現しよう         【目標】図表を活用しながら、PROGRAM 8、 9 の内容についてわかりやすく説明できる。	図表を活用しながら、PROGRAM 8、9の内容について 説明する。 【読むこと】
	PROGRAM 10 Skits (Grandma Baba's Warming Ideas!) 【目標】異文化理解を深めるために、登場人物の心情 や物語の背景等について考察し、グループで話し合い ながら、英語劇を作成し発表することができる。	グループで英語の劇を作成し、発表する。パフォーマンステストでは英語劇をグループで発表する。 【話すこと(発表)】
	Steps 7 英語でやりとりしよう③【目標】現在・過去 進行形・過去形の疑問文を使って、適切に質疑応答が できる。	現在・過去進行形・過去形の疑問文を使って、適切に質疑応答する。
3	Our Project3       私が選んだ1枚         【目標】       ・自分が選んだ絵や写真について、メモやマッピングをもとにわかりやすく情報を整理し、紹介をすることができる。         ・聞き手のコメントや質問に対応することができる。	自分が選んだ絵や写真について、メモやマッピングをもとにわかりやすく情報を整理し、紹介をする。聞き手のコメントや質問に対応し、やりとりをする。 【話すこと(発表)】
	Power-Up 6 絵はがきを書こう 【目標】モデル文を参考にしながら、絵はがきを書く ことができる。	モデル文を参考にしながら、海外の人に対しての絵はがきを書く。 【書くこと】
	Reading Steps 【目標】物語や説明文などを読んで、内容を理解し、 自分のことや考え、知りたいことなどを書くことがで きる。	物語や説明文などを読んで、内容を理解し、自分のこと や考え、知りたいことなどを書く。 【読むこと】

#### 4 評価について

- (1) 日々の活動を重視し、以下の4項目を考慮して評価する
  - ①授業中の態度・姿勢・発表・音読
  - ②言語活動に取り組む姿勢
  - ③中間・期末の定期テストの結果
  - ④ノート、ワークなど提出状況
- (2) 評価・評定の3観点と評価の際の視点・方法

「知識・技能」

- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。
- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる 実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。

「思考・判断・表現」

○ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり伝え合ったりしている。

「主体的に学習に取り組む態度」

○ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。